

面影の郷

作詞：山口洋子
作曲：猪俣公章

1
道ばたに名もなくこぼれた花を
愛しんで摘んでたしろい横顔
幸せになつてと重ねた指を
潮風がゆらせた面影の郷よ

2
瞳をとじて思えばこんなに近い
初恋はふるさと男ごころの
肩よせてかくれた木立の陰で
ふと触れたくちびる 面影の郷よ

3
夕やけの若狭は潮騒さえも
あのひとの優しい声できこえる
あかあかと落ちる陽 彼方に炎える
この心とどけよ 面影の郷に

面影の郷

1

道ばたに名もなく
こぼれた花を
愛しんで摘んでた
しろい横顔
幸せになつてと
重ねた指を
潮風がゆらせた
面影の郷よ

面影の郷

2

瞳をとじて思えば
こんなに近い
初恋はふるさと
男ごころの
肩よせてかくれた
木立の陰で
ふと触れたくちびる
面影の郷よ

面影の郷

3

夕やけの若狭は

潮騒さえも

あのひとの優しい

声できこえる

あかあかと落ちる陽

彼方に炎える

この心とどけよ

面影の郷に